

仙台市 農政だより

2021年 秋号



【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

とれたて仙台
仙台の大地の贈り物

「とれたて仙台」がスタートしました

仙台産農産物の消費拡大を目指し、その魅力を広く発信する事業「とれたて仙台」をスタートしました。公式ウェブサイト及び公式Instagramで生産者インタビュー、直売イベントや販売店の情報、レシピなどを随時更新していますので、ぜひご覧ください。

公式ウェブサイト「とれたて仙台」	公式Instagram「とれたて仙台」(@toretate_sendai)
<p>https://toretate-sendai.com/</p> 	<p>https://www.instagram.com/toretate_sendai/</p> 

生産者インタビュー(仙台芋沢自然薯研究部会 今野良敬さん)

青葉区芋沢地区で自然薯の栽培に取り組む仙台芋沢自然薯研究部会では、毎年11月に「じねんじょまつり」を開催しています。人気の恒例行事として定着し、地域活性化の一助を担っているとして、令和3年度農あるふるさとづくり支援事業の対象となっています。今回は、研究部会長の今野良敬さんにお話を伺いました。



自然薯を持つ今野良敬さん

今野さんは、かつて芋沢地区に自生していた自然薯に着目し、17年前から栽培を始めました。その後、地域の仲間たちと研究部会を立ち上げ、茨城県の生産者を訪問して栽培方法を学んだり、会員同士の情報交換をしながら、粘りやうまみの強い良質な自然薯の栽培に取り組んでいます。

6月に種芋を定植した畑は、9月上旬には葉で緑のトンネルになっていました。この時期に地上の葉をしっかりと茂らせることで、地中の自然薯も品質が良いものに成長するそうです。

「ここまでは順調に育っています。自然薯はデリケート。雨続きで根腐れしたり、虫がついて葉が枯れたりすると良い芋ができない。難しいけれど、だからこそ面白いですね」と今野さん。

自然薯が収穫時期を迎えるのは10月下旬～11月です。11月28日(日)には、芋沢地区の宇那禰(うなね)神社の駐車場を会場に「じねんじょまつり」が開催予定です。

Midoriの取材日誌



自然薯は、もともとは古くから日本の山野に自生している野生種の山芋。粘りやうまみがとても強く、消化促進や滋養強壮に役立つ健康食材として注目を集めています。

美味しい自然薯を選ぶコツは「大きすぎないもの(400g～700gくらい)が、うまみが凝縮していておすすめ」とのことでした！(斉藤緑里)

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

GAP (農業生産工程管理) セミナーを開催します

今回は、宮城大学食産業学群助教の齊藤秀幸氏より、実際に大学でグローバルGAPを取得、更新された経験を基に、ご講演いただきます。

本セミナーは今年で最後の開催となります。参加費は無料ですので、ぜひお越しください。

- 内容：「グローバルGAPへのハードルをクリアするために」
- 日時：12月1日(水) 14時から15時30分まで
(受付は13時30分から)
- 会場：せんだい農業園芸センター 研修室
(若林区荒井字切新田13-1)
- 定員：30名
※新型コロナウイルス感染症対策の為、人数の調整を行う場合があります。
- 申込締切：11月24日(水)
- 申込方法：『GAPセミナー参加希望』と記載し、下記項目をFAXまたはメールでお送り下さい。難しい場合は、お電話でも承ります。
・氏名(所属がある場合は団体名)
・住所
・電話番号
- 申込先：仙台市農業振興課
FAX：214-8338
メール：kei008130@city.sendai.jp

【農業振興課生産振興係(電話：214-8335)】

果樹栽培課題解決研修を開催します

せんだい農業園芸センターみどりの杜では、農業技術向上や農業従事者拡大を目的として、果樹を栽培している方を対象に、品目別の「果樹栽培課題解決研修」を行っています。11月は「リンゴ栽培」に関する疑問や悩み、問題について専門員がお答えします。ご希望の方は下記へお申込みください。

- 日時：11月18日(木) 13時30分から15時30分まで
- 会場：せんだい農業園芸センター 研修室
- 受講料：1,000円(税込)
- 募集人数：10名まで ※応募多数の場合は抽選
また、観光果樹園では、12月上旬までリンゴ狩り、来年6月下旬までトマト狩りなどの摘み取り体験がお楽しみいただけます(有料・予約優先)。詳しくは、せんだい農業園芸センターみどりの杜観光果樹園ホームページ(<https://stbl-fruit-farm.jp/arai/>)または下記へお問い合わせください。

せんだい農業園芸センターのリンゴ



せんだい農業園芸センター
みどりの杜観光果樹園HP

【仙台ターミナルビル(株)荒井事業所(電話：762-9688)】

米粉製粉機をご利用ください

せんだい農業園芸センターの加工棟で、米粉製粉機がご利用いただけます。米粉を使ってパンやクッキーなどを手作りしてみませんか。

- 利用できる方：市内にお住まいの方、市内に住所がある
食品加工事業者
- 利用料金：30分110円(税込)
※10キログラムの米で約1時間かかります。
- 利用方法：せんだい農業園芸センターへ直接予約
※詳細及び空き状況等はせんだい農業園芸センター
ホームページ(<http://sendai-nogyo-engei-center.jp/>)から
ご確認いただけます。



せんだい農業園芸センター
みどりの杜HP



米粉製粉機

【せんだい農業園芸センター(電話：288-0811)】
【農政企画課農食ビジネス推進室(電話：214-8266)】

農業版BCP(事業継続計画)を作成しましょう



近年、自然災害(台風・大雪・猛暑・長雨)等が多発しており、農林水産関係への影響・被害は増加傾向にあります。

こうした中、農林水産省において、「自然災害時のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP(事業継続計画)」の様式が作成されました。それぞれ「耕種用」、「園芸用」、「畜産用」があり、下記ホームページからご覧いただけます。

自然災害等のリスクへの備えや被災後の早期復旧・事業再開の観点から、農業版BCPを作成し有事に備えましょう。

○農林水産省ホームページ

https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html



【農業振興課担い手育成係(電話:214-7327)】

「せんだい次世代農業経営者育成ゼミ」を開講しています

市では、次世代の本市農業を担う農業経営者の育成を目的に、(公財)翠生農学振興会・東北大学大学院農学研究科へ委託し、9月から「せんだい次世代農業経営者育成ゼミ」を開講しています。

5年目となる本年度のゼミは、「受講生同士による学びあい講座」、「地域リーダー養成講座・マルシェ開催」の2つのカリキュラム内容で、2月下旬まで実施します。

9月上旬の開講式には、オンライン出席者を含めて9名のゼミ生が参加し、塾長である東北大学大学院農学研究科教授の伊藤房雄氏より講話をいただき、学びあい講座の第1回目として、JA仙台元組合長の高野秀策氏、(有)竹鶏ファーム代表取締役の志村竜生氏より記念講演をいただきました。

今後の講義やワークショップ、マルシェの開催を通して、地域におけるリーダーシップのあり方や農業経営の展開等について、さらに学びを深めていきます。



記念講演の様子

【農業振興課担い手育成係(電話:214-7327)】

次世代の女性農業者を対象に講座を実施しています

次世代を担う女性農業者の育成と活躍を目指す「次世代アグリヒロイン活躍支援事業」の一環として、加工実習講座「フルーツマスタードで仙台の野菜を楽しむ」を8月に開催しました。

実習では、紫山のごはん会主宰・フードコーディネーターの佐藤千夏氏を講師として、からし菜の種子のすり潰しにブルーベリーやトマトのジャムを合わせたオリジナルのフルーツマスタードを作り、調理した野菜に添えるなどしてランチプレートを作りました。



実習の様子



完成したランチプレート

参加者は「生産した野菜で作ってみたい」「組み合わせや量を覚えてまた作りたい」などと感想を述べ、加工への意欲を高める機会となりました。

今後も視察研修や講演会等を実施する予定です。参加を希望する方は、下記へご連絡下さい。

【農業振興課担い手育成係(電話:214-7327)】

米価下落等に伴い資金を借りる農業者を支援します

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年産米価が下落している問題の対策として、市では、農業者の経営の安定を図るため、市内の農業者が農林業災害対策資金を借り入れる際に、利子の補給を行い支援します。

また、米価下落以外にも新型コロナウイルス感染症の影響が発生している農業者も対象となります。

- 対象者：新型コロナウイルス感染症により影響を受け、農業経営の維持が困難となる農業を営む個人及び団体等で、市の被害等認定を受けたもの
- 貸付限度額：300万円（農林業所得が総所得の過半を占める場合は600万円）または農林業経営被害額（市認定額）のいずれか低い額
- 資金用途：経営の維持・安定を図るために必要な資金
- 貸付期間：5～7年（うち据置1年以内）
- 貸付利率：0%（無利子）
- 申込期間：令和4年3月15日(火)まで
- 申込先：J A仙台各金融窓口

【農業振興課担い手育成係(電話:214-7327)】

仙台市の農林水産物を活用した6次産業化等を支援します

市内産の農林水産物を使用した6次産業化や農商工連携の取り組みを、専門家の知見を活用しながら、事業計画の策定から商品開発、加工・製造、販路開拓まで一貫したメニューにより継続的に支援します。 ※予算がなくなり次第、募集を終了します。あらかじめご了承ください。

○対象者（いずれも市税を滞納していない方に限ります）

認定農業者、農業協同組合、林業者、森林組合、漁業者、漁業協同組合、市内の農林漁業者等と連携して事業に取り組む商工業者、その他市長が特に必要と認めた者

○専門家派遣

6次産業化や農商工連携に必要な助言・指導を受けることができます。

派遣内容例	事業計画策定、経営診断、マーケティング、商品開発、技術指導、デザイン開発、販路開拓等
費用	無料(専門家謝礼は市が負担)
派遣回数	1事業者につき年度内5回まで
派遣時間	1回あたり2時間程度

○補助金【新たにECサイト登録にかかる費用も補助対象となりました】

原則として、2名以上の異なる分野の専門家派遣を受け、所定の事業計画書を作成し適切であると認められた後に、下記の補助金を必要に応じて受けることができます。

メニュー	補助対象経費	補助率	補助上限額
マーケティング	販売戦略のための市場調査や広報活動に係る経費	1/2以内	10万円
機材導入	6次産業化等に必要な機械や設備の導入に係る経費	1/2以内	120万円
商品ブランドデザイン開発	パッケージやロゴデザインの開発、WEBサイトの構築等に係る経費	1/2以内	15万円
試作	試作した商品の評価や使用する原材料調達に係る経費	1/2以内	20万円
販路開拓	展示会への出展、モール型ECサイト登録に係る経費	1/2以内	20万円

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎(仙台パークビル9階)

電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338(農政企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp(農政企画課)

◆H P <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業ページ